

# むらづくりの羅針盤 ～第5次十津川村総合計画～ 【概要版】

十津川村では「第4次十津川村総合計画」の期間満了を機に、これまでの取り組みも含めて十津川をもう一度見つめなおしました。今後のむらづくりのための行政の長期的な方針を定め、総合的かつ計画的な行政運営を行う基礎となる計画書として「むらづくりの羅針盤～第5次十津川村総合計画～」を策定しました。

## 十津川の使命 ～十津川の維持・再生・成熟のためのむらづくりの考え方～

### 一人ひとりを見つめるむらづくりにより、 先人の千年の歴史を未来につなぐ

この成熟期において、これまでのような「発展」「成長」に捉われることなく、人口減少・高齢化を受け入れ、村民の暮らしと幸せを守るためのむらづくりをすすめるため、一人ひとりの人生と心を見つめ、先人たちが築いてきた千年の歴史を未来につなぎます。

- ① 助けあい支えあいの精神に基づく、自立した村の確立
- ② やりがい生きがいのある暮らしのための知恵と技、文化の継承
- ③ 山への感謝の念を込めた自然と共生する暮らしの実現



山々に囲まれ自然と共生する集落



暮らしの技を生かした散歩道の整備

## 十津川のむらづくり ～むらづくりの目指す方向とすすめ方～

行政と村民・事業者・関係団体などが、むらづくりの方向や理念を共有し、心をあわせて国・県とともに取り組むための「むらづくりの羅針盤」として、本計画を策定します。

本計画は、10年後の村の姿を考え、将来に備えた目標とそれを実現するプロジェクトなどを位置づけ、総合的かつ計画的な行政運営を行うための日々の行政の指針とします。

【計画期間】平成29年度から平成38年度までの10年間

○ 目指す方向性 「**心身再生の郷**」  
恵まれた自然環境の中で、人間らしい生き方を求めて、本物の自然や文化との触れ合いを通じ、村民や客人との深い交流ができる**人本位の郷づくり**をめざします。

○ むらづくりの理念  
村の暮らしを支えている、十津川固有の風景に包まれた森林・文化・村民の絆などの村の宝を未来に引き継ぎ、**村民が豊かに、幸せに暮らし続けていくことができる村の維持、再生、成熟**をめざします。

## むらづくりの分野別方針 ～分野ごとの理念と基本的な方針～

**教育・生涯学習の推進**  
村の宝を一人ひとりが継承し、人間力・個性・村愛精神を養う教育・生涯学習をすすめ、**やりがい生きがいのある暮らしをすすめます**

- 豊かな自然と地域ぐるみで健やかな成長を育む就学前教育の充実
- 伝統と知恵を育む村ならではの学校教育の推進
- 村民の生きがいとなる自主的な生涯学習活動の推進
- 文化財等の歴史的資源の保存と多様な活用 など



**地域福祉の向上**  
村民誰もが健康に安心して暮らし続けられるよう、暮らしを支えるサービスを連携させるとともに、**村民みんなが互いに助けあい支えあむらづくりをすすめます**

- 地域での暮らしを支える福祉サービスのネットワーク化
- 安心して子育てのできる児童福祉の充実
- 地域で助けあう福祉体制づくり
- 村の資源を活かした健康増進の推進 など



**人を迎え入れる村外からのしくみの構築**  
村外に対する発信力を高め、村内で求められる人材や村に惹かれる人、村出身者をつなぎ、**村外から人を迎え入れるしくみの構築をすすめます**

- 移住者を地域で迎え入れる環境づくり
- 人材を求める村内の情報集約・発信の強化
- 村外との交流・連携による産業活動等の展開
- 村出身者やその他支援者とのネットワークづくり など



**活かした産業の振興**  
村のあらゆる宝を最大限に活かして地域内循環を促すとともに、**村ならではの生業で「十津川ブランド」の確立をすすめます**

- 林業の6次産業化の推進
- 後世に引き継ぐ森林・農地の再生
- あらゆる観光資源を活かした村ならではの魅力の創出
- 村の産業における後継者の育成 など



**環境・基盤の充実**  
生活の基盤を守り、村ならではの暮らしの魅力を高め、**村民が安心安全・心豊かに暮らし続けられるむらづくりをすすめます**

- 道路等の整備による生活基盤の強化
- 生活拠点と集落を結ぶ交通機関の再編
- 自然資源を活用したエネルギーの域内循環のしくみづくり
- 地域独自の活動と地域間交流の促進 など



**行財政の再生**  
役場、村民、関係団体、事業者等が“村一体”となってむらづくりをすすめます

- 計画の継続的な進行管理
- 既存施設の活用等による公共施設の再編
- 県や近隣市町村との連携による広域行政の展開
- 村民と連携したむらづくりの展開 など



## お 住み続け住み了える暮らし プロジェクト

村民が村内に住み続け、また山を降りた人々の里帰りを促し、安心して住み了えるための方策をつくります

- 在宅医療・介護(予防)プロジェクト
- 高齢者のやりがい生きがいづくりプロジェクト
- 定住の住まい・環境づくりプロジェクト
- へき地集落の暮らし再生プロジェクト
- 庁舎再生プロジェクト
- 交通環境再編プロジェクト



助けあい支えあいながら暮らす高齢者福祉のモデルプロジェクト「高森のいえ」  
(イメージ 平成29年3月完成予定)

## 村内外から呼び寄せ、 つきあい・ふれあう場プロジェクト

村外から人を呼び寄せる方策と暮らし続けてもらうための環境をつくるとともに、集落・村内の人や移り住んだ人が集い触れ合う場、旅人が居心地よく溶け込める場を確保します

- 文化財再考プロジェクト
- アート回遊観光プロジェクト
- 村外から人を呼び寄せる移住誘致プロジェクト
- 公共施設再編プロジェクト
- 土捨場跡地の活用プロジェクト



文化財の活用(旧武蔵小学校)



移住者の村暮らし体験(もちまき)

## 村ならではの子育て・教育環境 プロジェクト

都会の文化に染まらない、心身ともに健康な村ならではの子育てと教育方策、さらには世代間断絶を埋める社会教育の場をつくります

- 地域内子育てプロジェクト
- 十津川ならではの教育確立プロジェクト
- 十津川高校と連携した生業の継承プロジェクト



保育所での交流会



高校生らに技を継承する木工拠点(山崎)  
(イメージ 平成29年3月完成予定)

## 生き続ける森林の育成プロジェクト

村の森林再生を第一目標として、近視眼的な採算にとらわれない木材の多目的利用を積極的に促す林業6次産業化のしくみを確立します

- 森林再生プロジェクト
- 林業6次産業化プロジェクト



適正な間伐による森林の再生



十津川材の玩具(天王寺公園でのPR)

## 村から生み出すエネルギー源 プロジェクト

用材の多目的利用であるバイオマス等により、電力・熱源の自給による地域内循環のしくみをつくります

- 地域内のエネルギー循環プロジェクト



木材により風呂をわかす薪ボイラー



水車のかで発電する小水力発電

## 神秘性ある秘境への旅人招致 プロジェクト

村の森・川・温泉等の自然環境に恵まれ、山に対する畏敬(いけい)の念と感謝の心に包まれる、神秘性のある秘境を活かして旅人を招く方策を確立します

- 十津川温泉郷の回遊できる温泉街づくりプロジェクト
- 十津川温泉郷湯治プロジェクト
- 十津川食材を活かす“十津川もん”づくりプロジェクト
- 十津川の自然体験型観光の確立プロジェクト
- 村民“おもてなし”型観光確立プロジェクト



十津川の新鮮な食材を販売する朝市



世界遺産を使ったトレイルランニング